

2 0 2 5 年度
歯学部共同研究施設
利用の手引き

目次

I.	岡山大学歯学部共同研究室施設管理運営内規	1
II.	共同利用室利用細則	3
III.	共同利用室利用システム	7
IV.	共同利用室が保有する機器一覧	8
V.	歯学部棟 10 階共同利用室配置図	12
VI.	各種利用申込書	13

I. 岡山大学歯学部共同利用施設管理運営内規

(設置)

第1条 歯学部にて、教育・研究施設として岡山大学歯学部共同利用施設（以下「共同利用施設」という）を置く。

(趣旨)

第2条 共同利用施設の管理運営については、法令等に定めのあるもののほか、この内規の定めるところによる。

(施設)

第3条 共同利用施設は、動物実験室、情報処理室、共同実験室、等をいう。

(管理運営責任者)

第4条 共同利用施設の管理運営責任者は歯学部とし、歯学部長が掌握し、監督する。

(施設の長)

第5条 各共同利用施設の管理運営のための実務責任者として、それぞれの施設に長を置く。

(使用の範囲)

第6条 共同利用施設は、歯学部（附属病院を含む）所属の教職員に使用させることを原則とする。

(使用時間)

第7条 共同利用施設の使用時間は、8時30分から17時までとする。ただし、各施設の長が特に必要と認めるときは、使用時間を延長することができる。

(休業日)

第8条 共同利用施設は、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日および年末年始の休業中は使用を認めない。ただし、各施設の長が認めるときは、この限りでない。

(使用手続き)

第9条 共同利用施設を利用する者は、その所属部署の責任者（教授または科長）の許可書（受印鑑）を得て、施設の長に入室許可書を申請し許可を得てからその施設を使用しなければならない。

(遵守事項)

第10条 共同利用施設を使用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- 一 許可を受けた目的以外に使用しないこと。
- 二 使用時間を厳守すること。
- 三 火災の予防に万全を期すこと。
- 四 電源の使用については、定められた器具以外の電熱器具類は使用しないこと。
- 五 盗難防止に注意すること。
- 六 施設および設備を損傷・汚染し、許可なく工作を加えないこと。

- 七 施設の内外は、常に清掃を行ない、整理整頓に努めること。
- 八 使用後は、火気のないことを確認のうえ施錠を行なうこと。
- 九 その他使用に際しては、施設の長の指示に従うこと。

(庶務)

第 1 1 条 共同利用施設に関する庶務は、各施設の長が行なう。

(細則)

第 1 2 条 この内規の実施に関し必要な事項は、各施設の長が別に定める。

附則

この内規は、昭和 5 7 年 10 月 19 日から施行する。

附則

この内規は、平成 11 年 4 月 1 日から施行する。

附則

この内規は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

II. 1. 歯学部共同利用室利用細則（案）

（運営組織）

- ①歯学部共同利用施設の運営には、歯学部共同利用室室長（以下、室長と略す）、同室担当教員があたる。
- ②歯学部共同利用施設が保有する機器の管理は担当教員があたるものとする。
- ③利用者は機器使用の終了後、使用ノートに所定の事項を記入しなければならない。
- ④利用者は、使用に先立ち、室内条件、設備、機器等の異常や不備に気付いた場合は、直ちに専任教員または室長に連絡すること。
- ⑤個々の機器の使用については、別に定めた使用法に従って使用すること。
- ⑥機器、設備等に破損および故障が生じた場合は、ただちに専任教員または室長に連絡すること。

（共同研究室の施錠）

- ⑦精密測定室および中央研究施設は管理上、夜間・休日は施錠する。夜間・休日に利用予約をする者は、前もって専任教員に連絡をとり、テンキー番号の情報を得ること。原則としてテンキー番号は各分野で責任を持って保管管理しなければならない。

（低温操作室の利用について）

- ⑧低温操作室は、低温操作の目的で利用することを原則とし、保存の目的では使用しない。ただし、その保存が実験操作と密接な関連がある場合および室長が止むを得ないと判断した場合を除く。
- ⑨低温操作室内で暫時保管が必要な物品がある場合は、専任教員に連絡し、所定の場所に保管すること。なお、コンテナの前面および持ち込み保管物品には、全て、所属、氏名を明記すること。
- ⑩低温操作室の整理を定期的に行い、所属不明または長期放置の物品等は室長の判断で整理、処分する。

（共同培養室の利用について）

- ⑪細胞培養室および菌培養室については別紙に細則を定める。
- ⑫細胞培養室および菌培養室の使用にあたっては分野単位で利用申込書を提出し、各利用者が利用開始時に講習を受ける必要がある。

（附則）

- ⑬装置の調製、修理のため、やむを得ず装置の運転を停止することがある。この場合、室長は利用予定者に対し、速やかに連絡するものとする。
- ⑭その他必要な事項は、室長、装置管理責任者および各講座の利用者で協議する。

昭和 58 年 1 月 1 8 日

改訂 平成 6 年 4 月 18 日

再改訂 平成 7 年 4 月 20 日

再改訂 平成 12 年 4 月 19 日

再改訂 平成 14 年 5 月 28 日

再改訂 平成 23 年 4 月 15 日

再改訂 平成 25 年 4 月 17 日

再改訂 令和 5 年 4 月 1 日

再改訂 令和 6 年 4 月 1 日

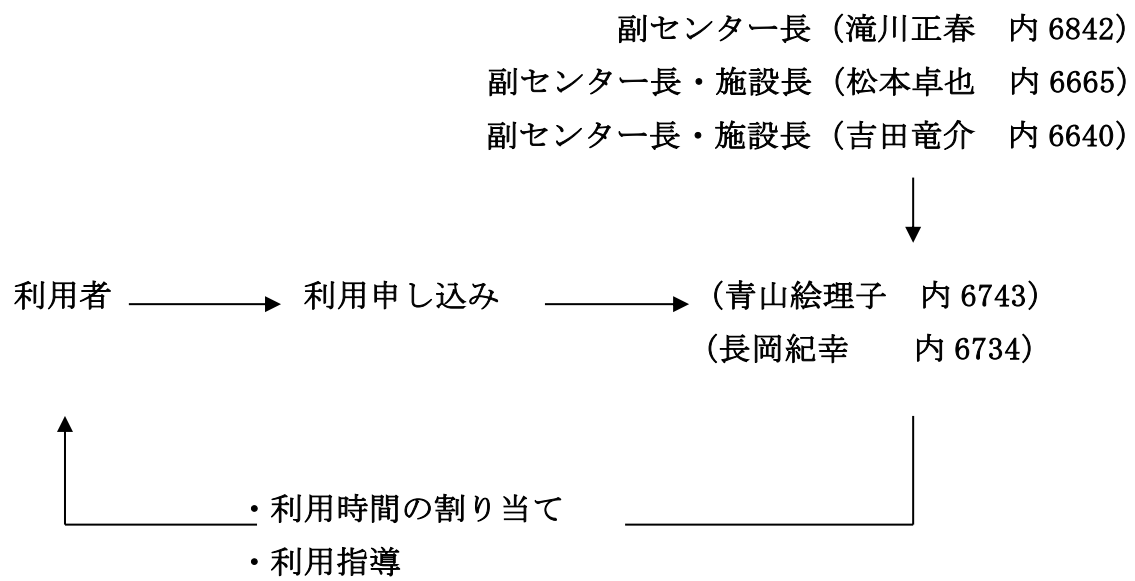
II. 2. 共同培養室細則

1. 分野ごとに使用願を提出し、各々の利用者は最初に管理者による使用講習を受ける。
2. 入室する際には備え付けのスリッパに履き替える。
3. 消耗品などは所定の場所に収める。それ以外の場所の使用を希望する際には管理者に相談する。
4. 実験機器の持ち込みを希望する場合は管理者に相談する。
5. 死滅させていない生物(動物、細菌など)を持ち込まない。
6. 培養庫は共同で使用するため日付、所属、名前を明記する。実験が終わった細胞を長期間放置しない。
7. クリーンベンチは使用後に必ず清掃し、アスピレーターを使用した場合はエタノールでチューブを滅菌し、廃液ボトルを洗浄する。ガス、アスピレーターのポンプが停止していることを確認して、使用簿を記載する。
8. 冷蔵庫、冷凍庫は所定の場所を使用する。定期的に収納物を確認し、必要ない物は廃棄する。
9. 廃棄物は基本的に持ち帰る。P2 培養室に関しては室内のオートクレーブで滅菌したうえで持ち帰る。
10. 退出時には記録簿を記入する。
11. 室内の設備および機器に関して異常を発見した場合は速やかに管理者に連絡する。

Ⅱ. 3. 共同実験室 6 (P2 菌培養室) 利用細則

1. 分野ごとに使用願を提出し、各々の利用者は最初に管理者による使用講習を受ける。
2. 入室する際には備え付けのスリッパに履き替える。
3. 必要な消耗品などは各自で用意し、所定の場所に収納する。それ以外の場所の使用を希望する際には管理者に相談する。
4. 実験機器の持ち込みを希望する場合は管理者に相談する。
5. 培養機器は共同で使用するため容器に日付、所属、名前を明記する。実験が終わったサンプルを長期間放置しない。
6. 安全キャビネットは使用後に必ず清掃し、ガスの元栓が閉まっていることを確認して、使用簿を記入する。
7. 冷蔵庫、冷凍庫は所定の場所を使用する。定期的に収納物を確認し、必要ない物は廃棄する(原則として1年以内)。
8. 廃棄物は全て持ち帰る。菌を含む可能性のある廃棄物および廃液は全て室内のオートクレーブで滅菌したうえで持ち帰る。
9. 退出時には記録簿を記入する。
10. 室内の設備および機器に関して異常を発見した場合は速やかに管理者に連絡する。

Ⅲ. 共同利用室利用システム



IV. 共同利用室が保有する機器リスト

分析機器

機器名	型式	場所
<u>分光光学的分析</u>		
分光光度計	ベックマン：DU-730	共同実験室 2
マイクロプレートリーダー	コロナ：SH1000 Lab	共同実験室 2
蛍光プレートリーダー	Molecular Devise：Gemini XPSOK	共同実験室 2
ゲル写真撮影装置	Kurabo：Dolphin View	共同実験室 1
Lab-on-a tip 分析装置	Agilent 2100 bioanalyzer	共同実験室 1
蛍光・発光撮影装置	BioRad：ChemiDocMP	共同実験室 2
<u>情報処理</u>		
遺伝情報処理ソフトウェア	SDC：GENETYX	共同実験室 1
DNA フラグメント解析ソフト	ABI：Gene Mapper	共同実験室 4
マイクロアレイ解析装置	Filgen：Genepix	共同実験室 4
マイクロアレイデータ解析ソフト	GeneSpring	共同実験室 4
<u>PCR マシン</u>		
Real-time PCR	Thermo Scientific：QuantStudio1	共同実験室 2
PCR	applied biosystems：2720	共同実験室 1

細胞培養用機器

機器名	型式	場所
CO ₂ インキュベーター	ESPEC DNA-111	共同利用培養室
CO ₂ インキュベーター	SANYO MCO-165T	共同利用培養室
CO ₂ インキュベーター	SANYO MCO-5AC	共同利用培養室
クリーンベンチ	AIRTECH BCM-1002W	共同利用培養室
クリーンベンチ	HITACHI PCV-1304BNG3	共同利用培養室
クリーンベンチ	SANYO MCV-B91F	共同利用培養室
クリーンベンチ	YUYAMA：CRB-V-1300	共同利用培養室

細胞およびサンプル調製・保存機器

機器名	型式	場所
<u>遠心機関係</u>		
大型高速冷却遠心機	KUBOTA: 7780	共同実験室 1
大型冷却遠心機	HITACHI: himacCD21E	共同実験室 1
卓上高速冷却遠心機	Beckman: Optima TL Ultracentrifuge	共同実験室 1
冷却遠心機	HITACHI: CF15D2	共同実験室 1
冷却遠心機	TOMY: MX-300E	共同実験室 1
分離用遠心機	KUBOTA: KN70	共同利用培養室
分離用遠心機	KUBOTA	共同実験室 1
分離用遠心機	TOMY: LC-100	共同利用培養室
卓上冷却遠心機	KUBOTA: 2800	共同実験室 1
<u>細胞破碎装置</u>		
超音波細胞破碎装置	astranson: XL2020	共同実験室 1
超音波震盪機	東京理化工機 AU180G	共同実験室 1
クライオプレス	セトロニン: CP-100W	共同実験室 1
<u>細胞分離装置</u>		
全自動磁気細胞分離装置 (MACS)	Milteny Biotech: auto MACS	共同利用培養室
<u>遺伝子導入装置</u>		
ECM830 遺伝子導入システム	BTX830	共同利用培養室
<u>超純水製造装置</u>		
超純水製造装置	milliQ: DirectQ	冷凍庫室
イオン交換水・蒸留水製造装置	YAMATO	冷凍庫室
イオン交換水・蒸留水製造装置	YAMATO	共同実験室 2
<u>製氷機</u>		
全自動製氷機	HOSHIZAKI: F-230 AE-1	冷凍庫室
<u>冷蔵庫／冷凍庫</u>		
冷蔵ショーケース	SANYO: MPR-311DR	共同実験室 4

冷蔵ショーケース	SANYO : MPR-312D (CN)	冷凍庫室
冷凍庫 (-30℃)	SANYO : MDF537D	共同培養室
冷凍庫 (-30℃)	REVC0 : VNF-16	冷凍庫室
冷凍庫 (-80℃)	SANYO : MDF-382AT	冷凍庫室
冷凍庫 (-80℃)	Panasonic : MDFC8	冷凍庫室
<u>天秤</u>		
分析用上皿天秤	METTLER : AE163	共同実験室 4
<u>培養機</u>		
大型恒温震盪培養機	TAITEC : BR-3000LF	共同実験室 6
小型回転培養機	TAITEC : RT-50	共同実験室 6
恒温震盪培養器	TAITEC	共同実験室 6
震盪装置	TAITEC	共同実験室 6
<u>顕微鏡関係</u>		
位相差顕微鏡	PLYMPUS : IMT-T-21	共同利用培養室
箱形蛍光顕微鏡	KEYENCE	共同実験室 5
箱形蛍光顕微鏡	OLYMPUS : FSX100	共同実験室 5
微分干渉・蛍光顕微鏡	OLYMPUS : IX81SF-3	共同実験室 5
ライブセルイメージングシステム (OLYMPUS : IX81SF-3 に連結)	TOKAI HIT 他	共同実験室 5
<u>画像解析装置</u>		
Cellomics ArrayScan VTI	ThermoFischer	共同実験室 4
<u>形態系観察機器</u>		
バンドソー	EXACT	共同実験室 2
ミクロトーム (3 台)		共同実験室 2
パラフィン伸展器 (2 台)		共同実験室 2
オスミウムコーター	メイワフォーシス Neoc-STB	共同実験室 3
クロスセクションポリッシャ	JEOL SM-09020CP	共同実験室 3
ウルトラミクトローム	Reichert Ultracut	共同実験室 3
<u>その他</u>		
オートクレーブ	SANYO	共同実験室 1

撮影用ライト	伸興産業株式会社	共同実験室 1
凍結乾燥装置	FTS SYSTEMS: FD-1-54	冷凍庫室
ヒーター式インキュベーター	SANYO: MIR-162	共同実験室 6
ヒーター式インキュベーター	TOYO SEISAKUSYO: F2-60	共同実験室 1
乾熱滅菌器	SANYO: MOV-1125	共同実験室 1
減圧乾燥機	SPEED VAC	共同実験室 1
マグネットスターラー	as one: REMIX RE-4A4	低温実験室
クリオスタット	Thermo Scinentific: HM550	冷凍庫室
分子間相互作用解析装置	GE Helthcare: BiacoreX	共同実験室 5
プレート震盪機	Wallac	共同実験室 4
恒温プレート震盪機	Kurabo DNA Oven	共同実験室 1

貸し出し可能な化学機器（下記以外の機器で移動可能な物は応相談）

機器管理責任者：青山，長岡

機器名	型式
-----	----

電気泳動関係

電気泳動用電源装置	マリソル：KS7511
電気泳動用電源装置	マリソル：KS7511
二次元電気泳動装置	アトー

分光光度計

分光光度計	島津：20A（ボシュロム）
比色計	クレット
デンストメーター	バイオラッド：1650-2

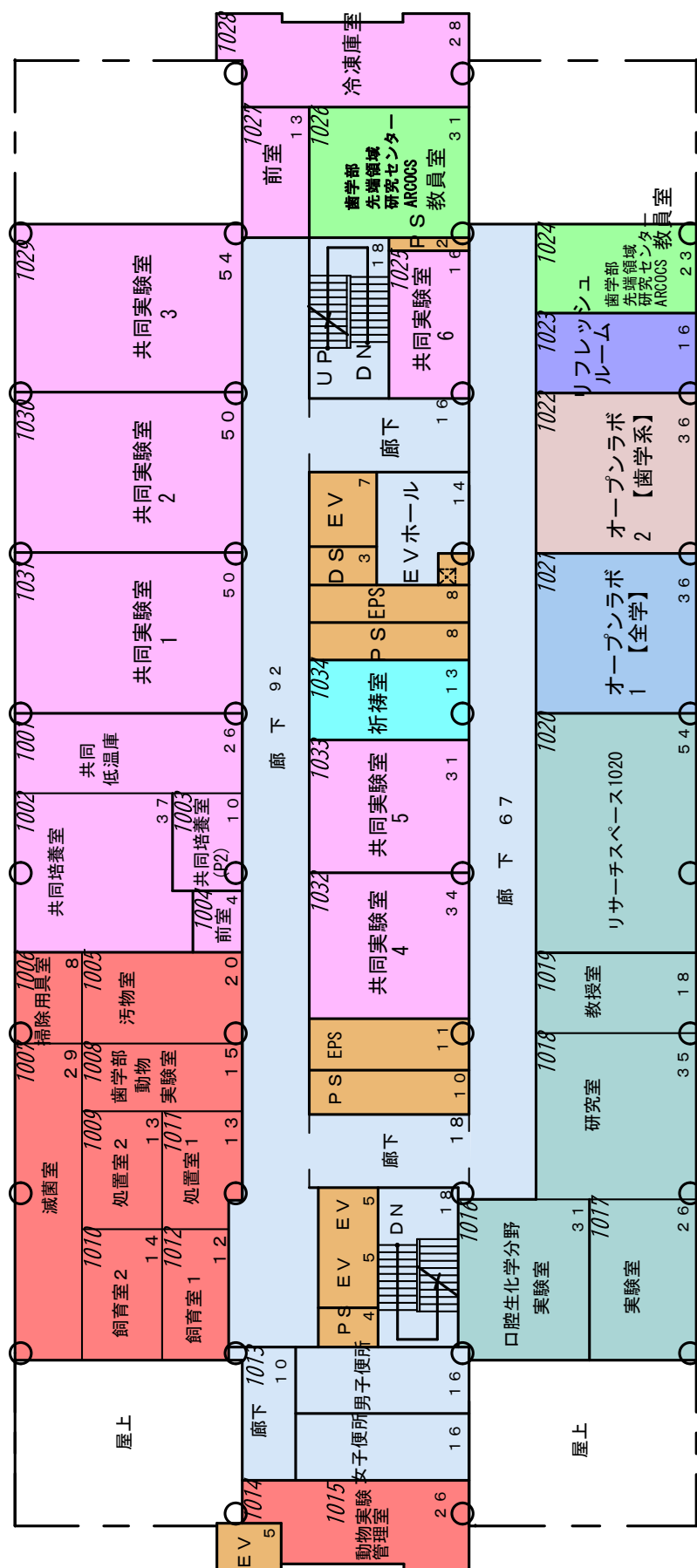
恒温槽

アルミブロック恒温槽	タイテック：TAL-2G
------------	--------------

光顕試料作製

マイクローム（3 台）	* 共同実験室 2 に設置（貸し出し可）
パラフィン伸展器（2 台）	* 共同実験室 2 に設置（貸し出し可）

V. 歯学部棟 10 階共同利用室システム配置図



歯学部共同利用施設機器貸出申込書

所属 _____

氏名 _____

電話番号 _____

メールアドレス _____

貸出機器名 _____

貸出日 _____

返却予定日 _____

返却日 _____

- * 原則として当該機器を借り受けた本人が返却すること。事情があつて本人が返却できない場合は管理者に別途連絡してください。
- * 返却予定日は厳守してください。
- * 貸出期間は特に定めのない限り半年以内とします。延長したい場合は再度この用紙を提出してください。

歯学部共同利用施設機器持ち込み申込書

所属 _____

氏名 _____

電話番号 _____

メールアドレス _____

持ち込み機器名 _____

持ち込み理由(その他の場合は括弧内に具体的に記入) _____

① 共同利用機器に同じ性能の機器が無く、共同実験室を利用せざるを得ない理由があるから。 _____

② 共同利用機器に同性能の機器はあるが、長期にわたって占有的に使用するから。 _____

③ その他 (_____) _____

持ち込み日 _____

引き上げ予定日 _____

引き上げ日 _____

＊ 原則として当該機器を使用する実験を実施、監督する教員が申込みしてください。

＊ 申込み時には引き上げ予定日のみ明示し、引き上げ日は空欄でかまいません。引き上げ後に引き上げ日を記入した本書を再提出されるか引き上げたことを管理者にメールでご連絡ください。

＊ 持ち込み期間は特に定めのない限り最長で現年度末とします。延長したい場合は新年度に再度この用紙を提出してください。